

全市民安全のための 消防力のあり方！

杉尾直樹



今回の質問は大綱2件「将来の消防力のあり方」と「放課後の児童保育」について、市として国の

取り決めへの対応や取り組みについて
いたしました。

消防力のあり方については、大きく3つの観点から質問や提案をしました。

①全体の消防力のあり方として、現況の活動範囲や特性を示し、今後の本庁舎建て替えについて提案しました。

②登別支署と登別温泉支署の統合について経緯などを聞き、機能充実や住民理解を訴えました。また建設構想の策定時期については平成27年度中に、利用開始は平成31年から32年との答弁がありました。

③消防団の充実強化については、平成27年度から手当や装備品などを充実し、活動内容も広げるとの答弁を頂きました。

放課後の児童保育については、国から出された「放課後子ども総合プラン」への対応について「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」「児童館」の連携と拡充の方針をただし、「女性が輝く社会」や「全ての児童の安全・安心な居場所づくり」の実施を提起しました。

東京五輪開催を見据えた 地域の活性化

成田昭浩



代表選手の育成と支援についての現状と今後の展望は。
○ オリンピックやパラリンピックで、

地元選手が活躍することは地域の活性化はもとより、子どもたちの大きな目標となり、夢と感動を与えることになる。

本市においては、子どもたちがスポーツに親しむ環境づくりに努め、全国全道大会への出場を支援する助成制度を実施している。

今後一流選手を招き、模範演技や実技指導、講演会などトップクラスの選手と触れ合える機会の創出、各競技団体や総合型スポーツクラブと連携した事業の企画など、子どもたちが夢を持つてスポーツに打ち込めるよう施策の方向性を探りたい。

またスポーツツーリズムについては、スポーツの振興と観光の融合により、地域の活性化を目指すという、今まさに取り組むべき施策である。教育部門と観光部門などの所管がまたがる施策に対し、縦割りのな体制や考え方で、ツーリズムという新たな発想が生まれづらく、調整や決定もできにくい。庁内組織や人材、情報の受発信など課題を精査し、国や他自治体の動向に注視しながら取り組むべきと提言した。

大雨による減災と 認知症高齢者を守る

二瓶秀幸



8月20日に甚大な被害があった広島県土砂災害を教訓に、大雨による防災・減災について、また昨

今社会問題になっている認知症高齢者が安心して暮らせる地域づくりについての2件を質問した。

本市はオフレ山系により道内でも年間降水量が最も多い市町村の一つで、これからは異常気象も頻繁に起こると想定した対策が必要との思いから、土砂災害危険箇所状況、河川の中洲対策や水位情報の周知方法、下水道の雨水対策、避難所の現状などについてた

だした。
土砂災害警戒区域は26箇所です。その区域内には避難所も数箇所ある。登別温泉地区ではホテルなどの上階の方が安全な場合があるので、避難所利用について民間施設との協議を進めて行くとの答弁があった。

認知症高齢者については、今年4月名古屋高裁で認知症患者の徘徊による電車事故で死亡した男性の遺族に対して損害賠償を命じた判決が出たこともあり、**社会が守っていく必要がある**との思いから、SOSネットワークの構築や認知症サポーターなどの取り組みをただした。

地域包括ケアシステム構築 について

木村純一



登別市地域包括ケアシステム構築の本市のこれまでの取り組みと今後の考え方についてた

た。
○ 地域包括ケアシステムは、保険者である市が地域の自主性や主体性に基づき、地域特性に応じて作り上げていくものと認識しておりますが、この地域特性について、どのようにとらえているのですか。

○ 2025年に向けて、札幌市などの都市部と比較し、本市の75歳以上の人の増加は緩やかなものの、総体の人口は減少するものと推計しています。

本市においては、NPOや町内会、老人クラブ、ボランティアなどの自主的な市民活動が、他市町村と比較しても活発に行われており、地域の多様な担い手を活用して、高齢者の在宅生活の安心を確保することを目的としていることから、これからの地域包括ケアシステムの構築にあたりましては、地域特性である自主的な活動を続けるさまざまな団体と協議しながら進めてまいります。



平成26年度補正予算審査

二瓶秀幸

ふるさと納税制度について、今まで基金積立は150万円から300万円だったが、今年1千万円と大幅に増えた要因は登録産毛ガニが好評との事だったが、量が確保できず締め切りとなった。

今後エソシカ肉などの特産品メニューを増やす案や、人気特産品確保の策をたじた。

石山正志

予防接種経費として、新たに水痘と成人用肺炎球菌ワクチン接種事業が追加された。予防接種法では、市町村が実施すると規定され財政負担も大きい。伝染性疾病の予防など公衆衛生対策は国の責務であり、その費用も全額国が負担すべきである。全国市長会などを通じ強く訴えるよう促した。

渡辺勉

耐用年数約15年と考えられた市民プール内のパネルヒーターの配管が、設置後10年で腐食し漏水したことによる改修について、利用者は水着を着用してプールを利用することから安全を第一に、プールの長寿命化や早期修理で経費節約を図るため日常的な点検をきちんと行うべきとたたじた。

高橋正美

自動車関連人材育成事業で緊急の雇用創出見込みが2名となっているが、どのような方の雇用を考えているのか。

答 自動車整備業務に1名、受付などの業務に1名だが、未経験者であっても若くて意欲のある方や女性の方の採用も積極的に行いたい。

委員会だより

議会運営委員会

議長諮問事項の協議を続行し、議会からの積極的な政策提案等に向け、議員・委員会・会派の取り組みフロアへの明示と、議員個々の提起を議会意思として確立する「議員間の協議の場の設置要綱」を改正するべく協議を行いました。また、これらを充足する目的で、政務活動費は平成17年度以前と同額の一人月2万円の交付、委員会視察調査費は平成18年度以前と同じ毎年度実施することで、各会派の調整を行いました。そして、議会基本条例の理解と基本条例に基づく活発な議員・議会活動の推進を目指し、自己評価のためのチェックシートを作成することにしました。

観光・経済委員会

本委員会は10月3日に(株)北海道マリンパーク関係者と今後の展望などについて意見交換を行いました。

同社からは須川支配人と木津総務部長が出席しました。須川支配人から昨年度の入込客数が31万8千人を記録し、中でも台湾からの入込が大きく伸びたことや、シンガポール、タイの入込も前年度を上回ったと報告されました。その上で須川支配人は入込の少ない韓国を含めた広い地域からの誘客や道内客にリピーターになってもらえるかが課題であり、今後の展開としてクルーズ船の個人ツアー客の誘客に力を入れたいと話されました。意見交換後は施設を視察しました。

総務・教育委員会

年間活動計画に基づき、7月19日に土曜授業の現地視察を緑陽中学校で行いました。

当日は参観日で、保護者が多数来校されている中、各委員は時間の許す限り複数のクラスの授業を見学しました。

活発な授業の状況や、パソコンを活用した理解しやすい授業など充実した様子を視察することができました。

授業参観前には、校長から土曜授業実施に至った主旨や経緯などの説明を伺い、各委員が質問をし、理解を深めました。

土曜授業は、今年度の成果や反省を踏まえ次年度以降も実施となるようですが、今後の取り組みについても委員会として把握に努めます。



▲緑陽中学校で土曜授業の説明を受ける様子

生活・福祉委員会

8月18日、伊達市を視察しました。①「太陽の園」が平成24年に新施設を建設したことから、施設の概要や施設設備のファシリテイマネジメントについて

②伊達市役所では障がい者福祉政策について

③障がい者が重くても住み慣れた地域で暮らしたいとの思いを実現したグループホーム「野ぶどう」について

④障がいのある方に作業や日中活動の場を提供する「ふみだす」の就労支援サービスの状況や在宅者入浴支援事業「伊達湯つたり館」について

現地調査をそれぞれ行いました。行政の支援に加え、住民の理解と就労の場を提供する企業の理解が障がいのある方にとって地域で暮らせることにつながると感じました。



▲ケアホーム「野ぶどう」で視察を行う様子

主な議会活動状況 (平成26年7月～9月)

日	曜日	行 事
7月		
1	火	総務・教育委員会
2	水	議会運営委員会
4	金	平成26年第4回登別市議会臨時会
8	火	市民・前進会派視察 (11日まで)
12	土	公明党会派視察 (15日まで)
14	月	市政クラブ21会派視察 (17日まで)
18	金	議会運営委員会
19	土	総務・教育委員会
28	月	議会運営委員会
8月		
5	火	生活・福祉委員会
12	火	議会運営委員会
18	月	生活・福祉委員会行政視察
20	水	清新会派視察研修
22	金	生活・福祉委員会
25	月	議会運営委員会 観光・経済委員会
28	木	平成26年第3回定例会議案説明 正副委員長会議
9月		
1	月	議会運営委員会
4	木	議会運営委員会
5	金	平成26年第3回定例会本会議「諸報告、議案提案説明、委員会付託又は省略」 予算・決算委員会 (補正予算審査・決算審査) 生活・福祉委員会
8	月	本会議「一般質問」
9	火	本会議「一般質問」 観光・経済委員会
10	水	本会議「一般質問」 議会運営委員会
11	木	本会議「一般質問」 予算・決算委員会 (補正予算審査)
12	金	生活・福祉委員会
16	火	予算・決算委員会 (補正予算審査・決算審査) 議会だより編集委員会
17	水	議会運営委員会
18	木	平成26年第3回定例会本会議「諸報告、残余議案」
29	月	議会だより編集委員会 第7回会派会長会議

※議会・常任委員会活動、会派視察などを掲載しています。

議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議 案	賛成議員	反対議員	結果
登別市税条例の一部改正について	石山、上村 木村 (俊)、工藤 佐藤、杉尾 高橋、成田 二瓶、沼田 松山、村井 山口、米田	佐々木 渡辺	可決

登別市議会事務局

☎85-9220 ファクシミリ 85-0018
メールアドレス gikai@city.noboribetsu.lg.jp

平成26年第3回定例会で可決した案件

【報告】

- 専決処分について
- 平成25年度健全化判断比率の報告について
- 平成25年度資金不足比率の報告について
- 予算・決算委員会の審査結果について
- 生活・福祉委員会の審査結果について
- 行政視察の報告について
- 例月出納検査の結果に関する報告について

【議案】

- 登別市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市税条例の一部改正について
- 登別市児童デイサービスセンター条例の一部改正について
- 登別市障害者地域活動支援センター事業条例の一部改正について
- 登別市教育委員会委員 (堅田裕氏) の任命について
- 登別市固定資産評価審査委員会委員 (柴山徳雄氏) の選任について

平成26年度補正予算

- 平成26年度登別市一般会計補正予算 (第4号) について
- 平成26年度登別市一般会計補正予算 (第5号) について

【意見書案】

- 2015年度予算 (介護) の充実・強化を求める意見書について
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について
- 電気料金再値上げの撤回を求める意見書について
- 「危険ドラッグ (脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書について

【その他】

- 予算・決算委員会の閉会中の継続審査の申し出について

第8回 議会フォーラム

平成26年度の議会フォーラムは、市内の高校生と専門学校生たちから、問題提起や提案等を内容とした質問を頂き、私たち議員が気づかないことや学生たちが考えていることを模擬議会形式で意見交換し、今後のまちづくりへの参考と活用に結び付けることを目的として開催します。

▶日時・場所 11月13日(木) 16時から
登別市役所 議場

▶テーマ 『言わせて!!』

▶各学校の質問項目

- ・日本工学院北海道専門学校
「子供の貧困について」
- ・北海道登別青嶺高等学校
「市内バスの運行及びバス停前横断歩道について」
「学校の老朽化対策、主に冬期間の暖房について」
- ・北海道登別明日中等教育学校
「少子高齢化について」
「市内施設について」

※今年度の議会フォーラムは議員と生徒・学生たちとの意見交換の場となるため、当日来られる市民の方はフォーラムを傍聴する形での参加となりますので、ご了承ください。

※お申込みは不要です。直接会場にお越しください。

▶お問い合わせ 議会事務局 総務グループ

